

ゴールドマン株

【ニューヨーク山下晃】米著名投資家のウォーレン・バフェット氏が写真が率いるパークシヤール・ハザウェイが、保有する米金融大手ゴールド



ドマン・サックスの株式を一部売却した。バフェット氏は2008年のリーマン・ショック時にゴールドマンに出資し、混乱する金融市場の安定に一役買った。当時の出資

バフェット氏 一部売却

分の利益を一部確定させた。

米証券取引委員会（SEC）へ四半期に1回提出する保有有価証券報告書（16日公表）によると、9月末時点のパークシヤールのゴールドマン株の保有数は1095万株（約2300億円相当）。6月末から13%減った。パークシヤールは8月に航空・エネルギー業界向け金属部品製造の米プレシジョン・キャストパーツを約320億円で買収すると発表しており、ゴールドマン株の売却によって買収資金を手当てしたようだ。バフェット氏

IBMやGM株は買い増し

は小売りのウォルマート・ストアーズの株も一部売却した。

ゴールドマンは08年、バフェット氏に出資を仰ぎリーマン危機を乗り切った。パークシヤールは配当利回りが10%の優先株50億ドルと、普通株1株を115ドルで購入できるワラント（新株引受権付社債）を引き受けた。ゴールドマン株は足元では190ドル台で推移しており大幅な含み益を抱えている。9月末の報告書では7〜9月にIBMやゼネラル・モーターズ（GM）株を買い増したことも明らかになった。